

安心・活力・発展プラン2015の進捗状況について

論 点

1 全体状況

2 H30年度の目標値に対する達成度

- (1) 政策別レーダーチャート
- (2) 施策別レーダーチャート(安心)
- (3) // (活力)
- (4) // (発展)
- (5) // (地方創生)

3 最終年度(H36)の目標値に対する達成度

- (1) 政策別レーダーチャート
- (2) 施策別レーダーチャート(安心)
- (3) // (活力)
- (4) // (発展)
- (5) // (地方創生)

1 全体状況

施策毎に設定した目標指標の進捗状況(30年度)については、以下のとおりであり、「達成」及び「概ね達成」は全体の91.3%(対前年度▲1.9%)となる見込み。

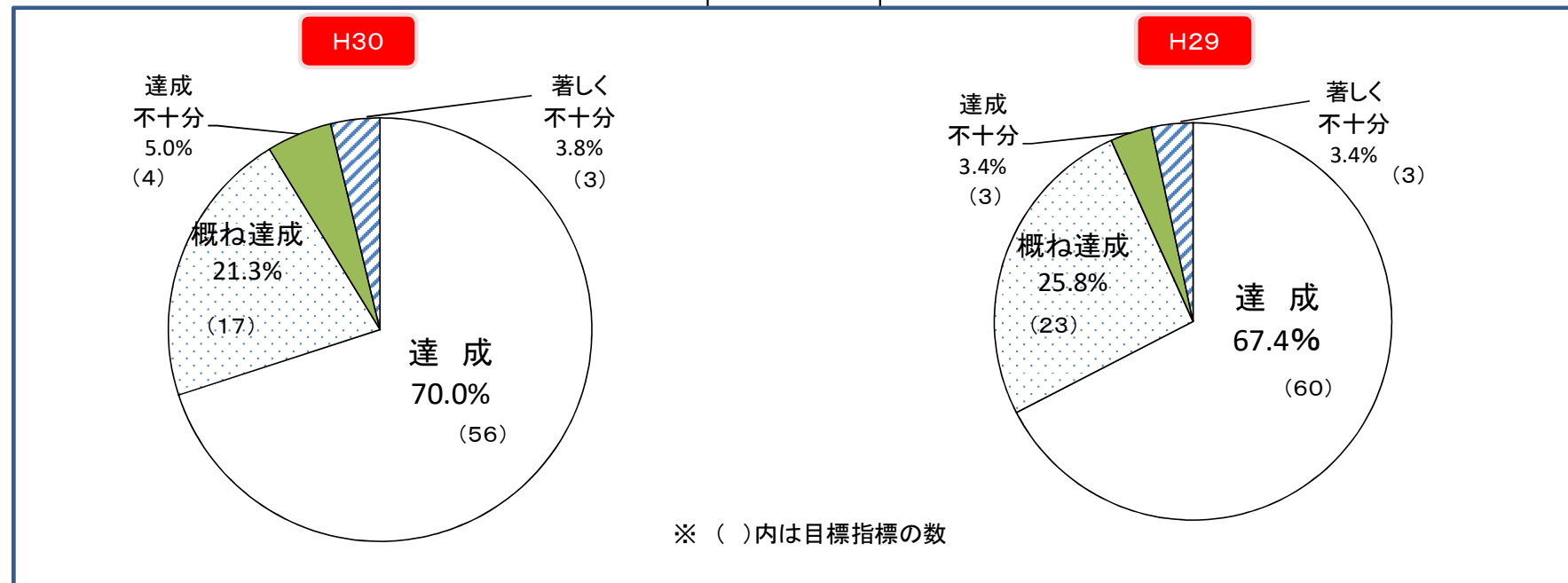
※ 集計中 9指標 (全89指標中)

区 分	達 成 (達成率100%以上)	概ね達成 (達成率100%未満 ~90%以上)	達成不十分 (達成率90%未満 ~80%以上)	著しく不十分 (達成率80%未満)	合 計	(集計中)
30年度進捗状況	56 (70.0%)	17 (21.3%)	4 (5.0%)	3 (3.8%)	80 (100.0%)	(9)
	73 (91.3%)		7 (8.8%)			

分野別	安 心	23 (71.9%)	6 (18.8%)	2 (6.3%)	1 (3.1%)	32 (100.0%)	(3)
	活 力	19 (73.1%)	5 (19.2%)	2 (7.7%)	0 (0.0%)	26 (100.0%)	(2)
	発 展	14 (66.7%)	6 (28.6%)	0 (0.0%)	1 (4.8%)	21 (100.0%)	(2)
	地 方 創 生	5 (55.6%)	3 (33.3%)	0 (0.0%)	1 (11.1%)	9 (100.0%)	(2)

※地方創生の指標は再掲を含む。

全体



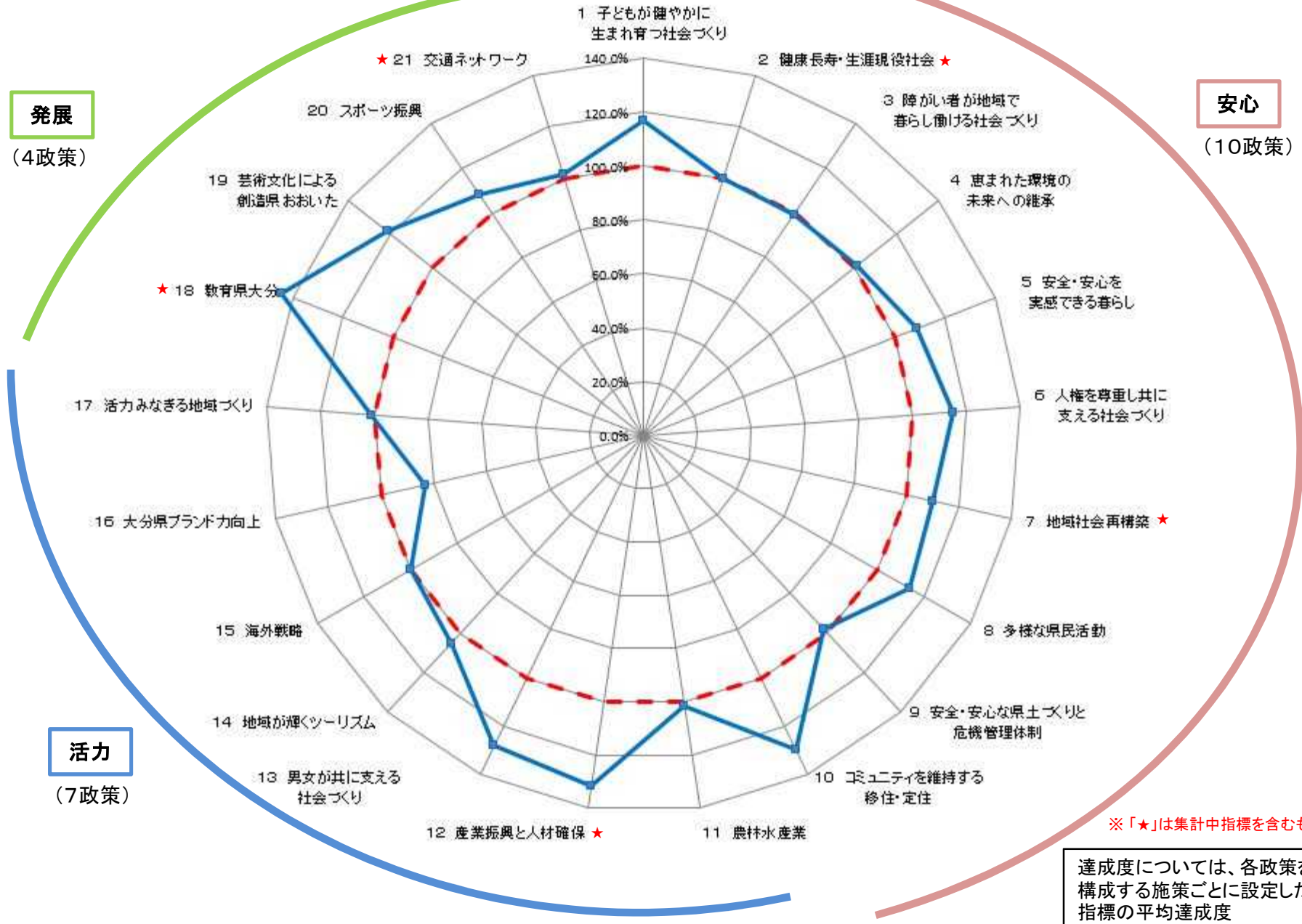
2-(1) H30年度の目標値に対する達成度(全体)

発展
(4政策)

活力
(7政策)

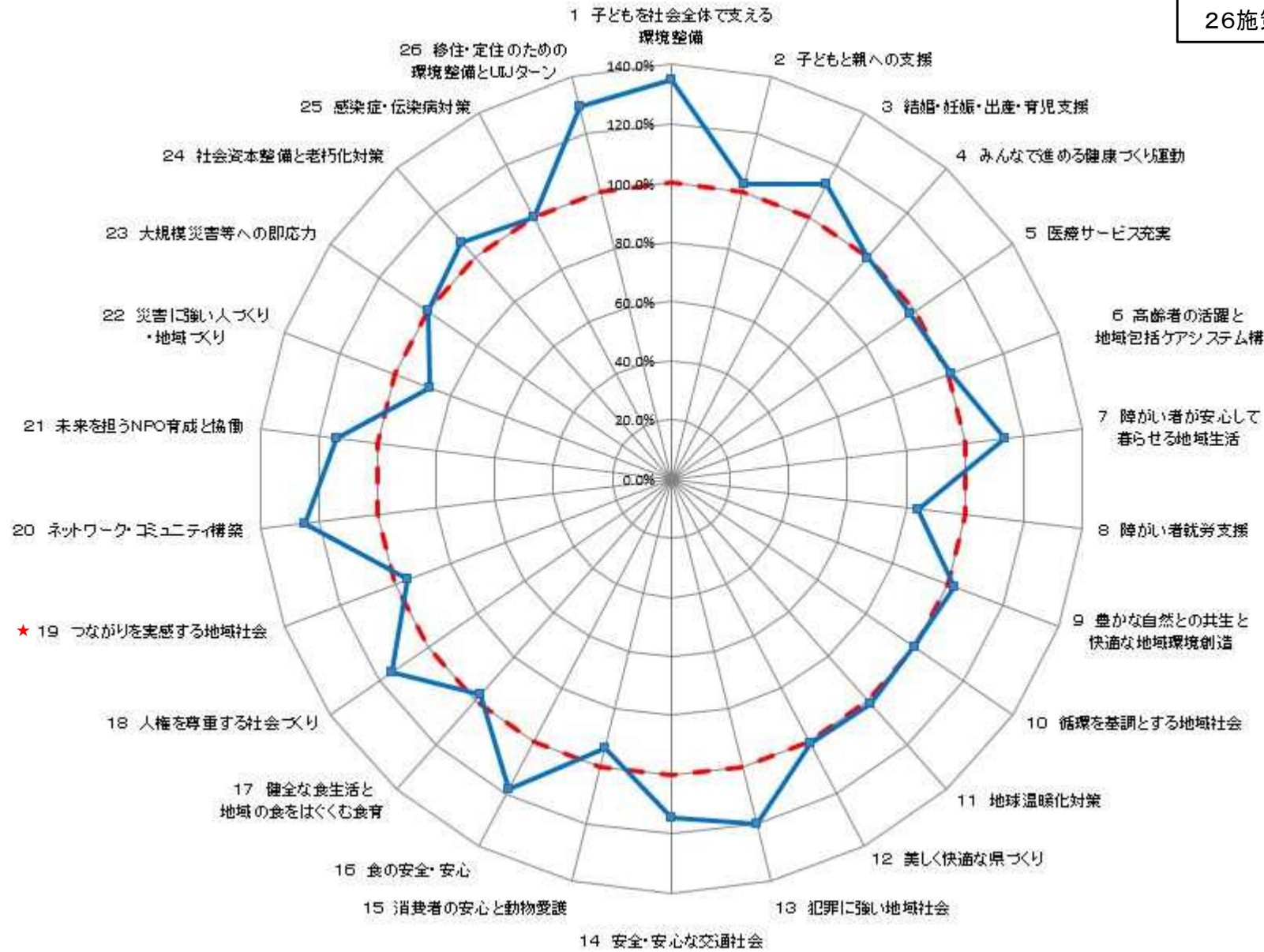
21政策

安心
(10政策)



2-(2) H30年度の目標値に対する達成度(安心)

26施策



※「★」は集計中指標を含むもの

2-(2) H30年度の目標値に対する達成度(安心)

【90%未満指標】

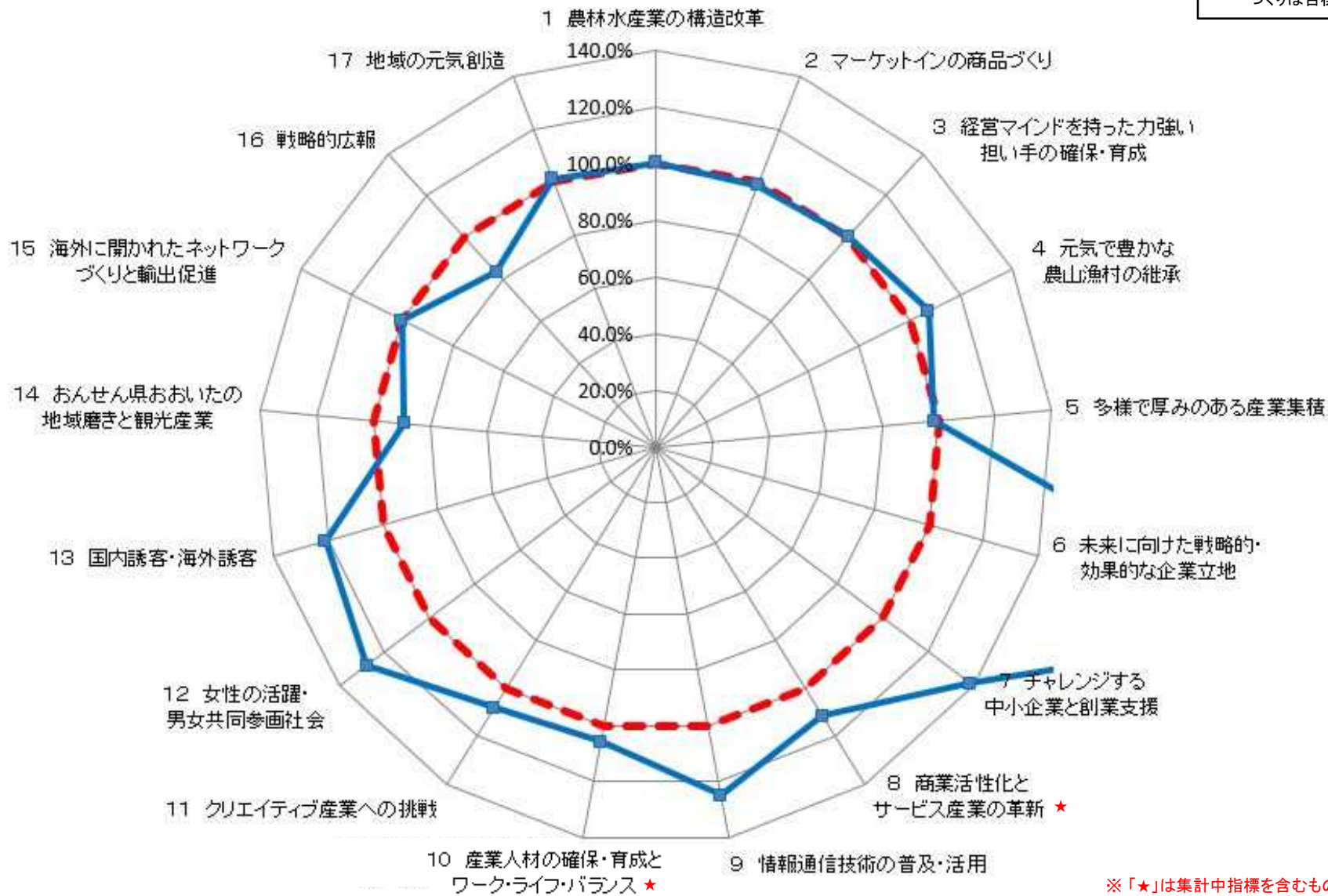
施策番号	施策名	指標名	目標値	実績値	達成度	要因	向上策
8	障がい者就労支援	障がい者雇用率の全国順位(位)	1	6	89.4%	法定雇用率引き上げによる県内の雇用義務対象企業数の増	・障がい者雇用アドバイザーとハローワーク等関係機関との合同訪問等による企業への働きかけの強化
8	障がい者就労支援	障がい者の福祉的就労に係る平均工賃月額全国順位(位)	5 (H29)	14 (H29)	79.0%	・新規設立事業所の低工賃 ・民間企業等への周知不足	・民間の経営視点を取り入れた共同受注体制の強化 ・農福連携の取組強化 ・官公需・民需の発注促進
22	災害に強い人づくり・地域づくり	自主防災組織避難訓練等実施率(%)	90.0	77.3 ※速報値	85.9%	・訓練実施の核となるリーダーの不足 ・過疎化、高齢化の進展 ・災害時における避難意識の不足	・防災士養成、防災アドバイザー事業の拡充 ・訓練押しかけ支援隊の派遣 ・疑似体験ツールの活用などによる避難意識の促進
		〃(津波浸水想定区域)(%)	100.0	88.5	88.5%		

【指標外課題】

施策番号	施策名	課題名	内容	今後の取組
1	子どもを社会全体で支える環境整備	出生数の減少	合計特殊出生率は1.6台に回復しているが、出生数は9,000人を割り込んでいる	・子育てに係る経済的支援や子育てと仕事の両立支援の充実 ・企業等を含めた県民全体での子育て応援の機運づくり ・「女性」や「子育て世代」向け移住支援の充実
21	未来を担うNPO育成と協働	NPOの基盤強化(資金、知識(ノウハウ)の不足)	・収入が少ない団体について、継続・発展した活動が難しい ・新規事業の展開や事業の向上を行う知識(ノウハウ)の不足	・活動資金の確保策 ・おおいボランティア・NPOセンターのサポート体制の強化
24	社会資本整備と老朽化対策	土砂災害警戒区域指定後の対策	土砂災害警戒区域等の指定や避難勧告等が避難行動につながっていない	・学識経験者、住民代表、行政機関からなる検討会議でとりまとめた大分県土砂災害避難促進アクションプログラムの実証
26	移住・定住のための環境整備とUIJターン	人口の社会減	移住者数は増加し過去最高の移住者数を達成(1,128人、対前年44人増)しているが、直近の人口の社会減は拡大(H29:1,980人減→H30:2,693人減)	・首都圏の不本意非正規雇用者を対象としたモニターツアーの実施 ・「子育て世代」向け移住相談会の開催(東京) ・「女性」向け移住イベントの開催(福岡)

2-(3) H30年度の目標値に対する達成度(活力)

17施策
※7(2)特徴ある地域
づくりは目標指標なし



※「★」は集計中指標を含むもの

2-(3) H30年度の目標値に対する達成度(活力)

【90%未満指標】

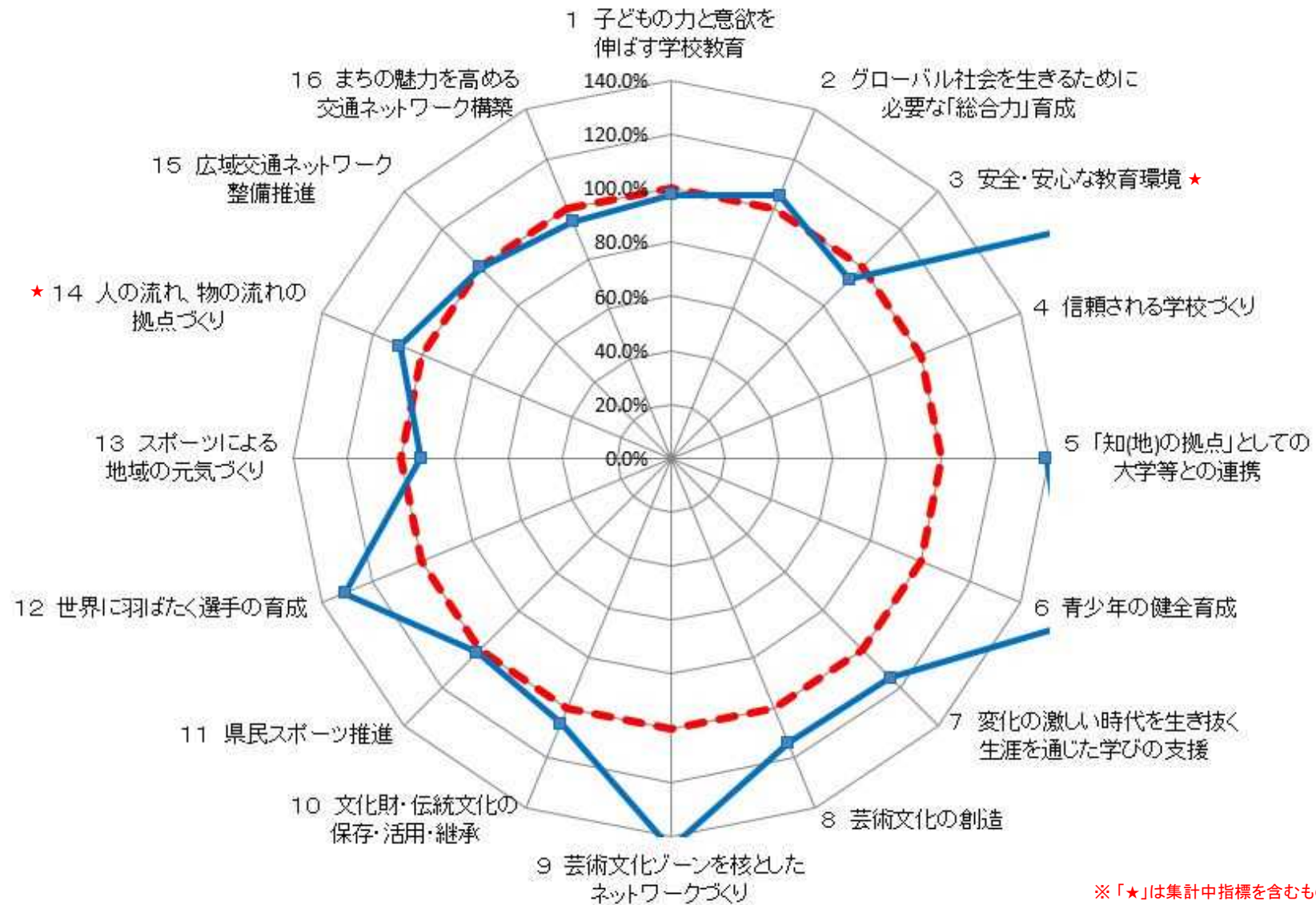
施策番号	施策名	指標名	目標値	実績値	達成度	要因	向上策
14	おんせん県おおいたの地域磨きと観光産業	観光消費額(億円/年)	2,320	1,968	84.8%	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人宿泊客数は増加傾向にあるが、比較的消費単価の低い東アジアからの訪日客が大半 ・比較的消費単価の高い国内の宿泊客数は減少傾向 	<ul style="list-style-type: none"> ・東アジアだけでなく、長期滞在かつ高消費単価が期待できる欧米・大洋州からのインバウンド拡大 ・国内、海外ともに長期滞在を促すため着地型旅行商品の充実
16	戦略的広報	地域ブランド調査(魅力度ランキング:位)	18	23	83.3%	温泉以外の魅力的なコンテンツの発信不足	<ul style="list-style-type: none"> ・PR業者を通じた首都圏等メディアへのコンタクトによる露出強化 ・WEB、SNSの活用による情報発信

【指標外課題】

施策番号	施策名	課題名	内容	今後の取組
1	農林水産業の構造改革	水田農家の経営転換	米需要の減少や米価下落の懸念があるなか、中規模稲作農家に対する転換誘導と地域の合意が必要	<ul style="list-style-type: none"> ・園芸導入等の営農意向調査を実施 ・モデル集落の選定と人農地プランの見直しにより、集落単位での畑地化を推進
3	経営マインドを持った力強い担い手の確保・育成	スマート農林水産業の普及	担い手の高齢化や労働力不足への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・規模拡大や生産性・収益性向上が可能なスマート農林水産業技術導入の啓発 ・部門別に必要な技術の選定、実証、改良による普及推進
9	情報通信技術の普及・活用	先端技術の社会実装	先端技術の活用による地域課題の解決や、新たな産業の創出	<ul style="list-style-type: none"> ・先端技術の社会実装のための実証実験と担い手の育成 ・次世代を担う人材を育てるIT教育環境の充実

2-(4) H30年度の目標値に対する達成度(発展)

16施策



2-(4) H30年度の目標値に対する達成度(発展)

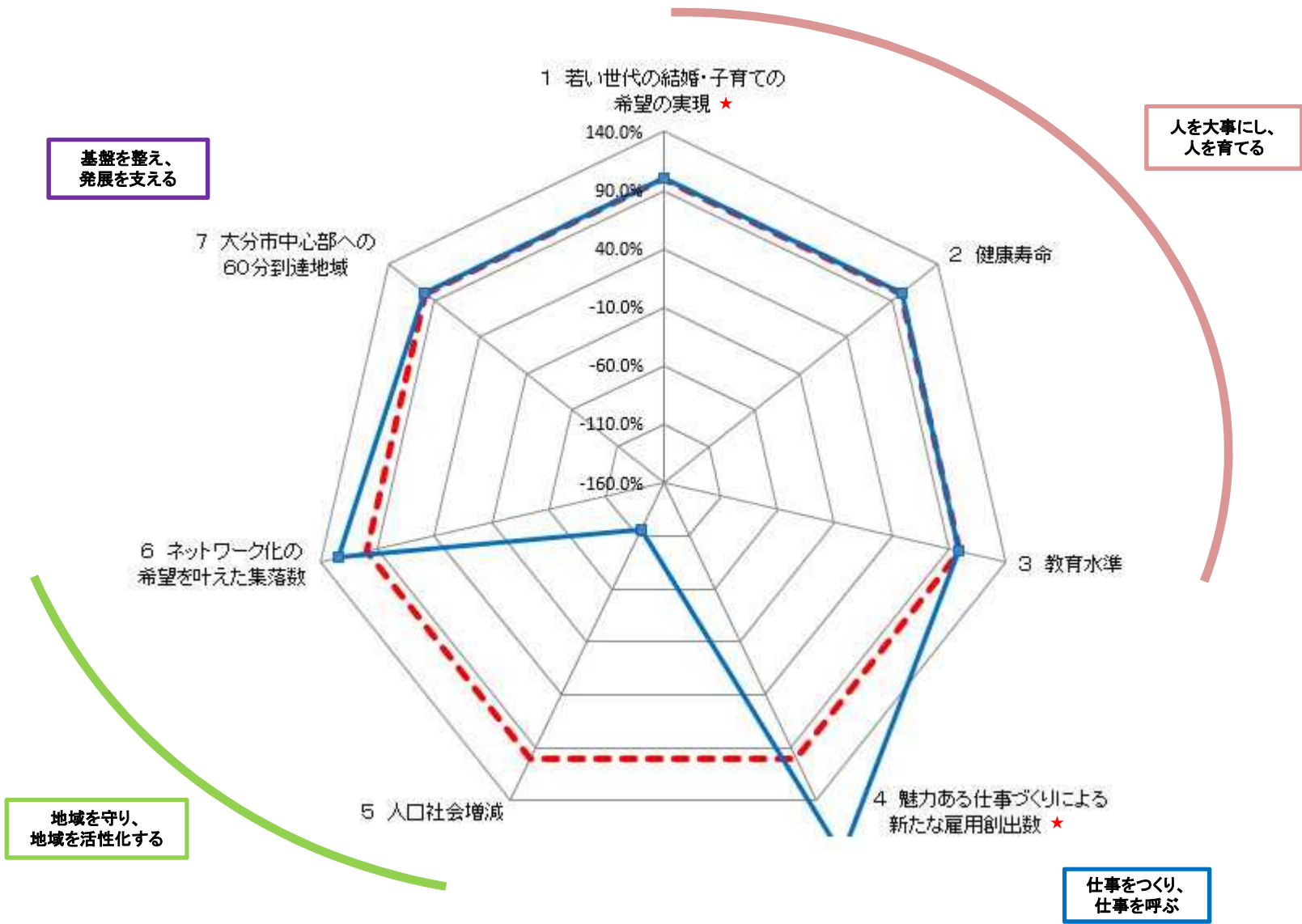
【90%未満指標】

施策番号	施策名	指標名	目標値	実績値	達成度	要因	向上策
3	安全・安心な教育環境の確保	不登校児童生徒の出現率(%)	1.21	1.50	76.0%	教育相談コーディネーターとスクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーとの連携不足	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談コーディネーターを中心に、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー、福祉関係者が参画できる体制づくりの徹底 ・SNSを用いた通報・早期対応システムの導入による相談体制の充実、早期発見・早期対応

【指標外課題】

施策番号	施策名	課題名	内容	今後の取組
1	子どもの力と意欲を伸ばす学校教育の推進	中学校数学の活用の伸び悩み	全国学力・学習状況調査における中学校数学B(活用)の正答率が全国平均以下	・「数学指導力強化巡回指導」により、解き方を教えてドリルに終始する授業から、生徒が数学的な表現を用いて説明する授業への転換
1	子どもの力と意欲を伸ばす学校教育の推進	体力の二極化	運動する生徒としない生徒の二極化、肥満傾向	・重点推進地域での実践を基に、栄養・養護教諭、体育教員の連携による、食習慣の改善と運動習慣の定着に向けた取組を実施
5	「知(地)の拠点」としての大学等との連携	大学生の減少	<ul style="list-style-type: none"> ・全国的な少子化の進行による学生数の減少 ・県内大学・短大等における総定員数の減少 	・県内進学者の増加に向けた魅力ある大学づくりや高校生への周知活動の強化等
6	青少年の健全育成	ひきこもりの長期化、高年齢化	8050問題に象徴されるひきこもりの長期化、高年齢化(中高年のひきこもりの増加)	<ul style="list-style-type: none"> ・県の相談機関の役割の明確化と相談支援の充実 ・市町村等地域と連携したひきこもり対策の推進 ・ひきこもり支援の充実と関係機関のネットワーク強化

2-(5) H30年度の目標値に対する達成度(地方創生)



※「★」は集計中指標を含むもの

2-(5) H30年度の目標値に対する達成度(地方創生)

【90%未満指標】

施策番号	施策名	指標名	目標値	実績値	達成度	要因	向上策
5	人口社会増減	人口の社会増減(人)	△850	△2,693	-116.8%	<ul style="list-style-type: none"> ・エリアでは、福岡・東京への転出超過 ・年齢では、20～40歳を中心として若者層の転出超過 	<ul style="list-style-type: none"> ・ターゲットエリア、年代の見直し ・移住、地方就職の動機付け強化 ・外国人材の呼び込み

【指標外課題】

施策番号	施策名	課題名	内容	今後の取組
1	若い世代の結婚・子育ての希望の実現	出生数の減少	合計特殊出生率は1.6台に回復しているが、出生数は9,000人を割り込んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てに係る経済的支援や子育てと仕事の両立支援の充実 ・企業等を含めた県民全体での子育て応援の機運づくり ・「女性」や「子育て世代」向け移住支援の充実

3-(1) 最終年度(H36)の目標値に対する達成度(全体)

21政策

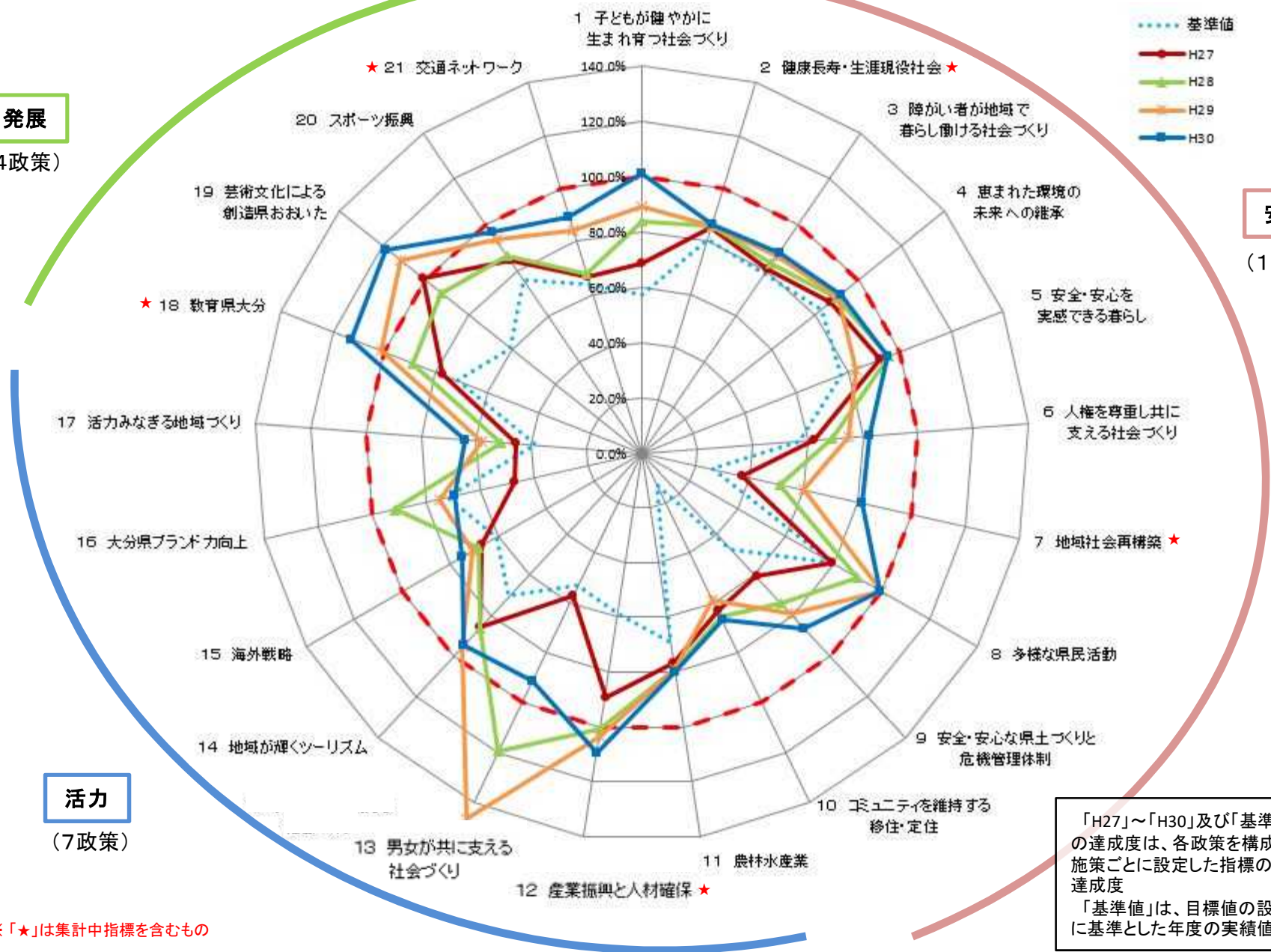
発展
(4政策)

安心
(10政策)

活力
(7政策)

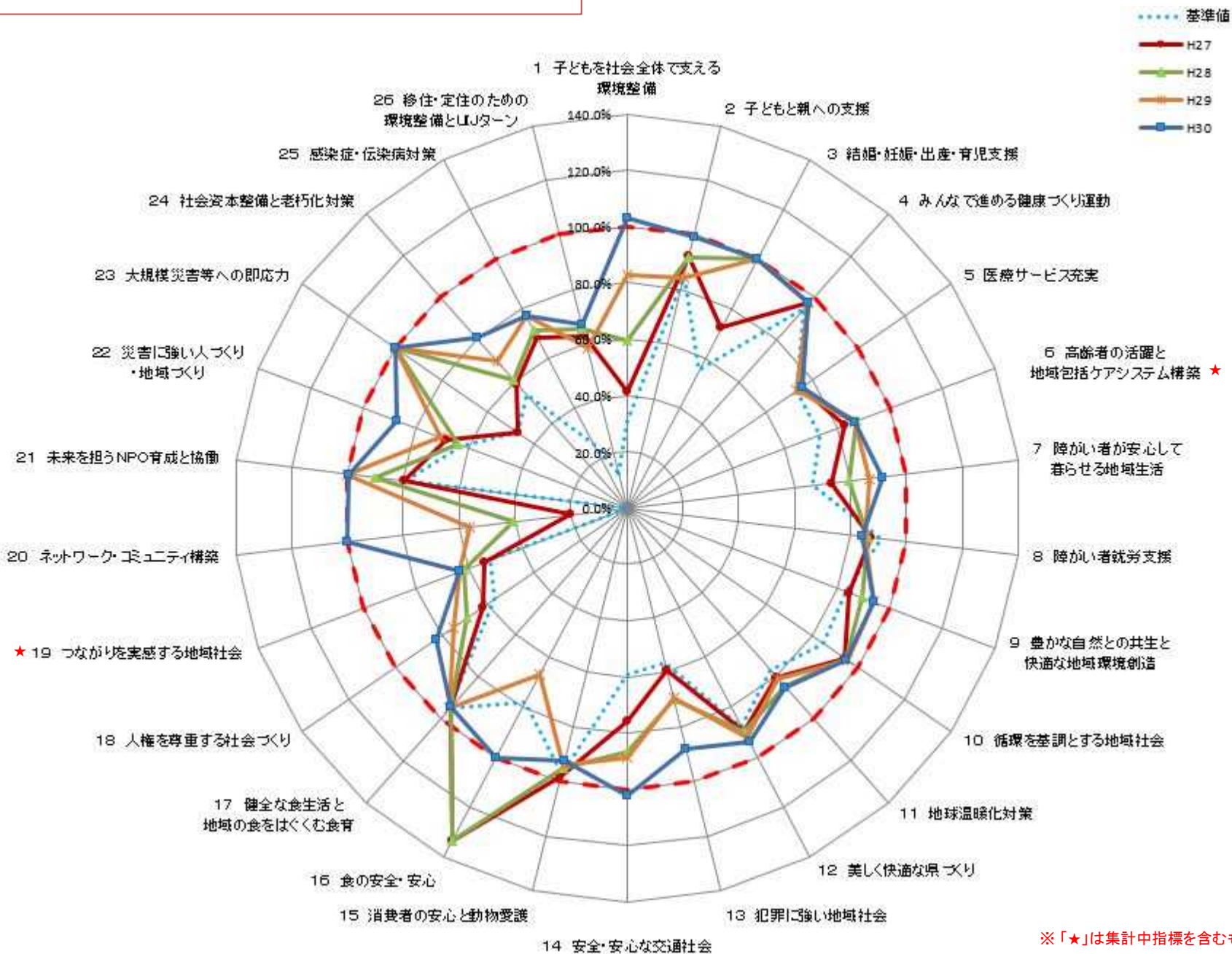
※「★」は集計中指標を含むもの

「H27」～「H30」及び「基準値」の達成度は、各政策を構成する施策ごとに設定した指標の平均達成度
「基準値」は、目標値の設定時に基準とした年度の実績値



3-(2) 最終年度(H36)の目標値に対する達成度(安心)

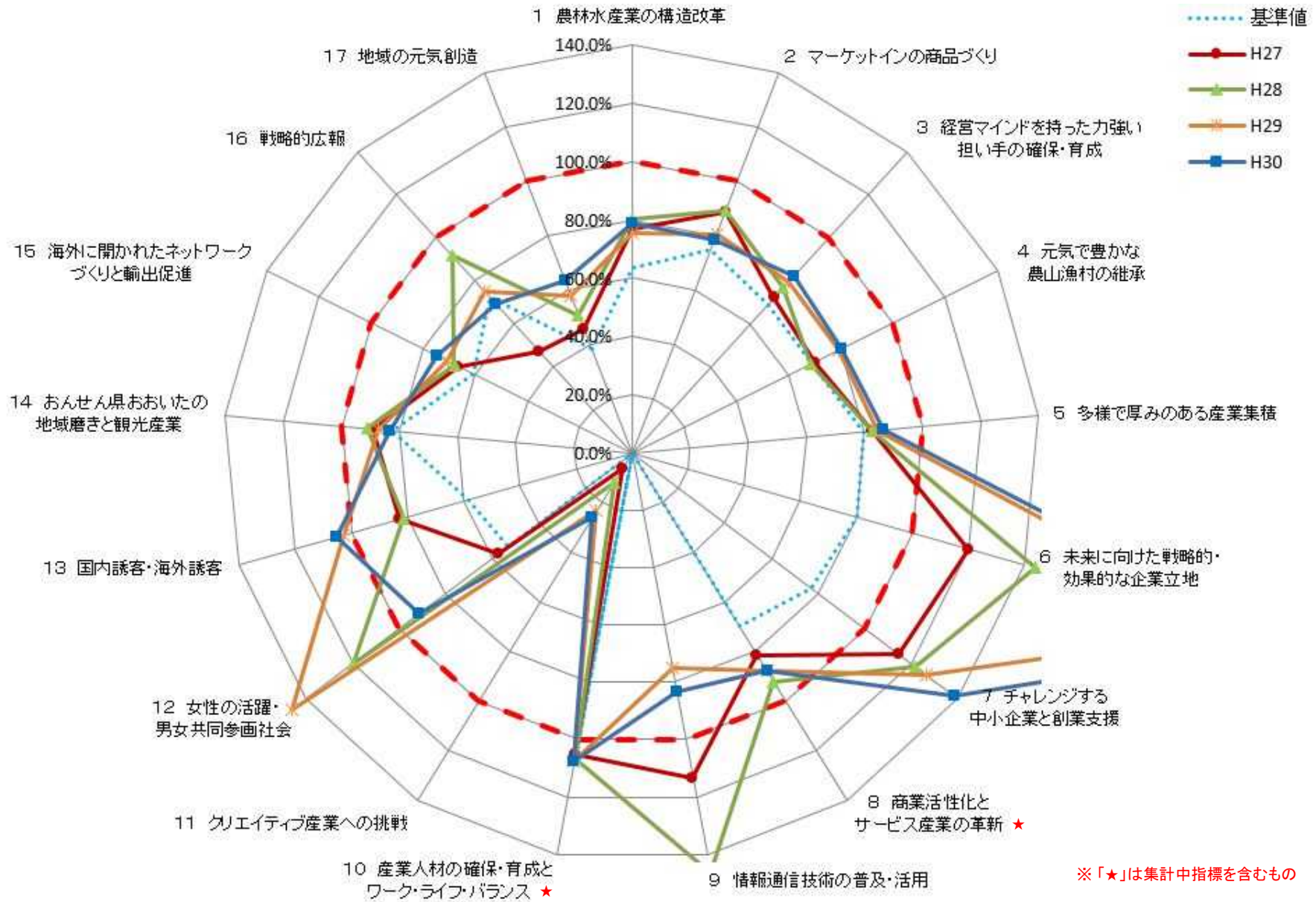
26施策



※「★」は集計中指標を含むもの

3-(3) 最終年度(H36)の目標値に対する達成度(活力)

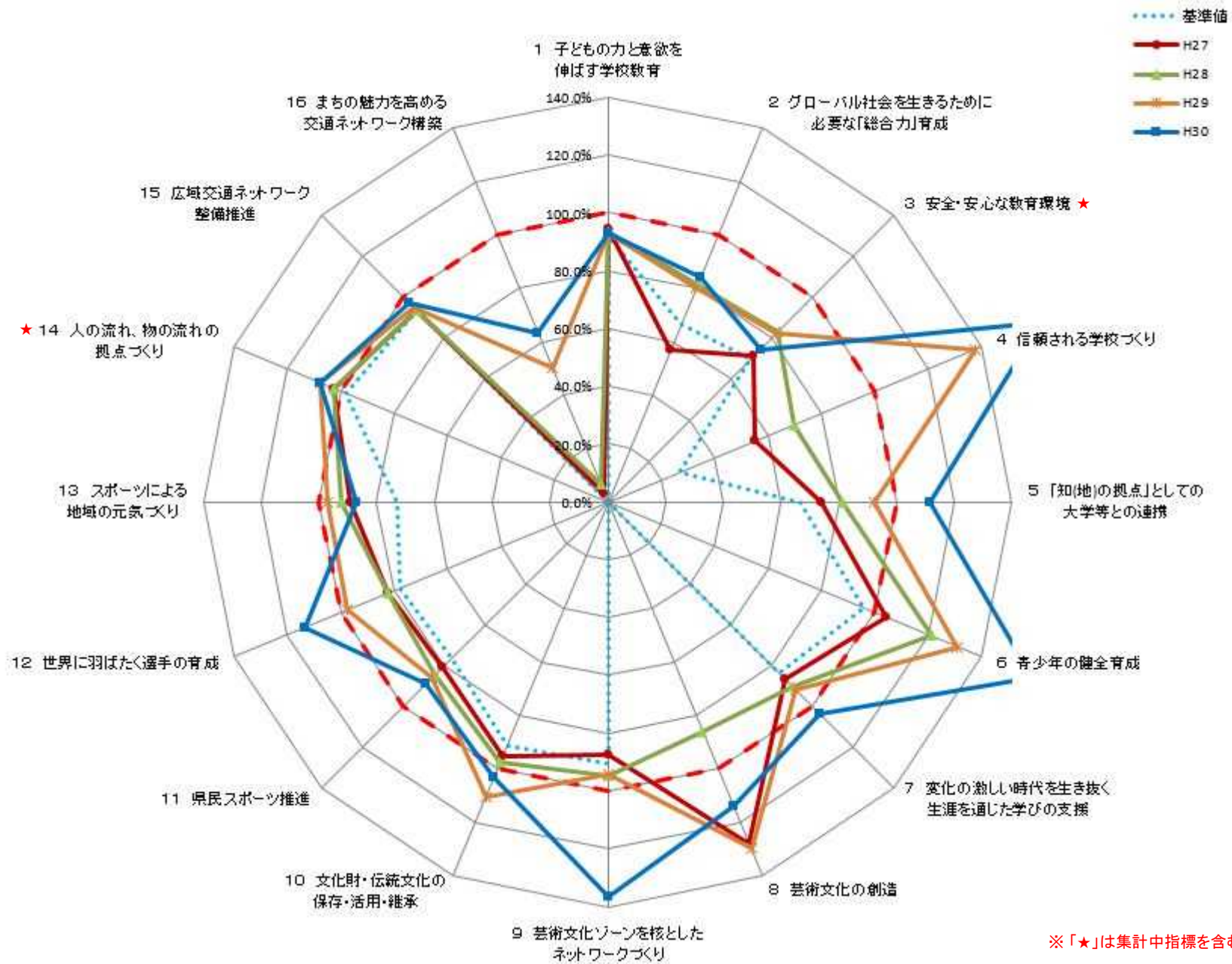
17施策
※7(2)特徴ある地域づくり
は目標指標なし



※「★」は集計中指標を含むもの

3-(4) 最終年度(H36)の目標値に対する達成度(発展)

16施策

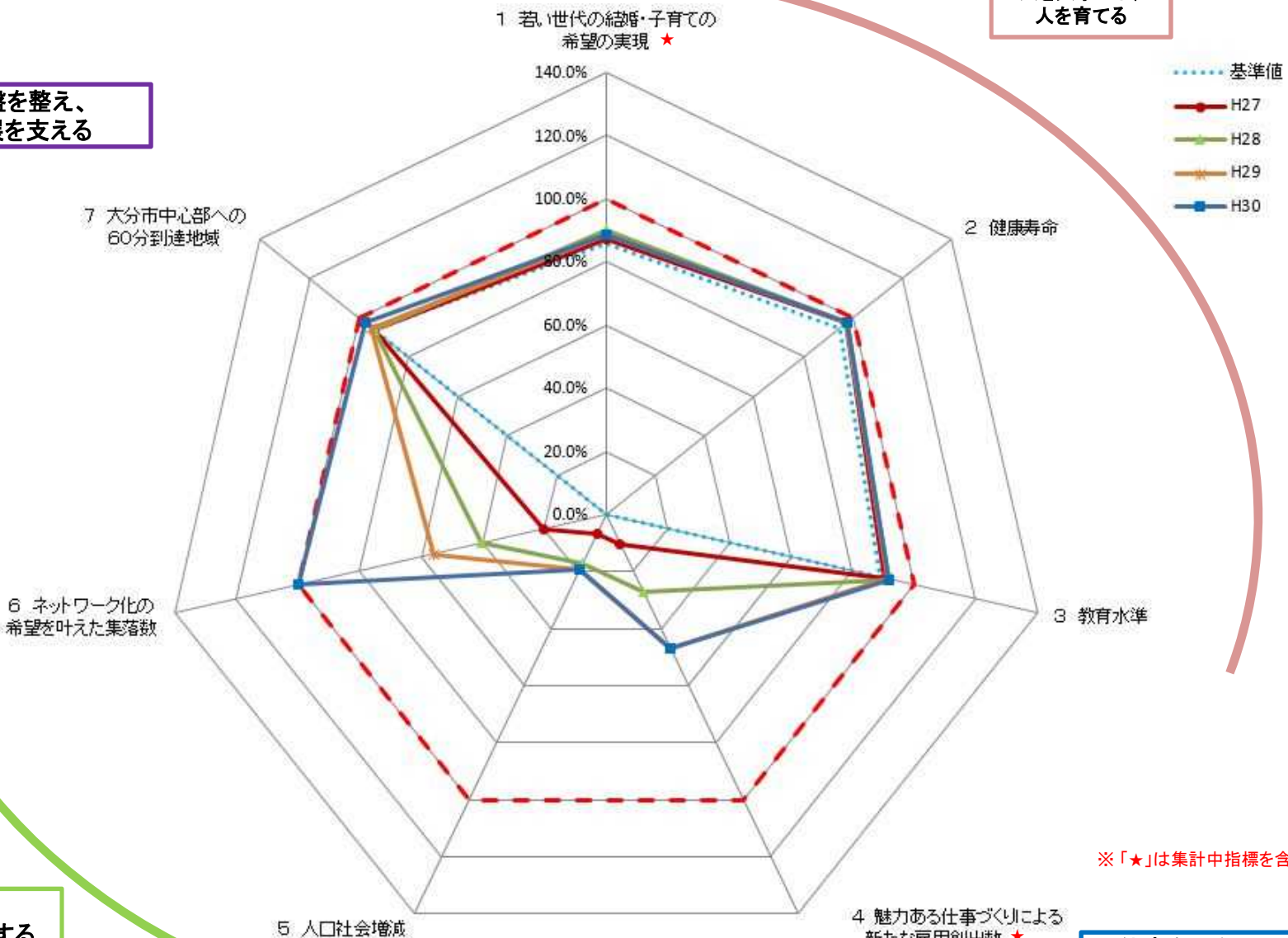


※「★」は集計中指標を含むもの

3-(5) 最終年度(H36)の目標値に対する達成度(地方創生)

基盤を整え、
発展を支える

人を大事にし、
人を育てる



地域を守り、
地域を活性化する

※「★」は集計中指標を含むもの

仕事をつくり、
仕事を呼ぶ